ライブ音響・コンサートスタッフ科

（昼間部・２年制）

シラバス

全設置授業科目数	57	うち実務教員授業科目総数	36
全設置授業時間数	1884	うち実務教員授業時間数	892
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業科目数			6
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業時数			180

１年次　ライブ音響・コンサートスタッフ科　【１ＬＣ】

系列	授業科目	授業時数 前期	授業時数 後期	単位	担当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備考
共通科目	基礎知識習得トレーニング	30	4	2	溝淵ほか					講義
	ビジネス基礎講座	8	8	1	芹沢ほか					講義
	音響用語	28		1	楠元ほか	○	28			講義
	音響概論	16		1	原田	○	16			講義
	電気電子の基礎	16		1	末永	○	16			講義
	電気音声信号		16	1	照井	○	16			講義
	音響機器Ⅰ	22		1	照井	○	22			講義
	音楽史	32		2	松山	○	32	☆	32	講義
	舞台機構講座	8	16	1	見上・吉井	○	24			講義
	映像音響検定講座		16	1	永谷	○	16			講義
	効果音制作		20	1	石丸・吉井・金子(智)	○	20			講義
	動画音声制作概論	8	8	1	染谷・山田	○	16			講義
	演習　企画立案／シナリオ	8	8	1	見上	○	16			演習
	パッケージメディア研究	15	15	2	見上・塩田	○	30			講義
	英語	20		1	コールマン					講義
	音響工作	16		1	下久保	○	16			演習
	演習　機器オペレーションⅠ	36	4	2	溝淵ほか					演習
	演習　機器オペレーションⅡ	12	8	1	波多腰・溝淵					演習
	実習　音響実技	36		1	波多腰	○	36			実習
	Ｏｎｇｅｉ実技判定	10	10	1	溝淵					演習
	演習　クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ	28	20	3	楠元・波多腰	○	48			演習
	照明概論	16		1	赤本	○	16			講義
	聴能形成	8	8	1	見上	○	16			講義
専門科目	ステージワーク・スタジオワーク	12	12	1	波多腰・溝淵					演習
	演習　ダビングミックス		32	2	波多腰	○	32			演習
	演習　ライブＰＡの基礎		34	2	溝淵					演習
	楽器オペレーション		16	1	溝淵ほか	○	16			演習
	ＰＡシステム	16	16	2	金子(峻)・福西ほか	○	32			演習
	音響機器実技判定		16	1	近藤	○	16			演習
	演習　ホールＳＲⅠ		16	1	加藤	○	16			演習
	コンサート演出研究		16	1	遠藤	○	16	☆	16	講義
	演習　照明実技Ⅰ		20	1	赤本	○	20	☆	20	演習
	演習　ステージ課題制作		64	4	吉井・溝淵	○	64			演習
	ライブ制作インターンシップ		16	1	各担当					実習
総合・その他	研修オリエンテーション	4			各担当					講義
	演習音芸オリエンテーションⅠ	30		2	各担当					演習
	企業研究	2	2		進路指導部					講義
	ワークガイダンス	2	4		各担当					講義
	企業インターンシップ	8	8	1	各担当					実習
	ガイダンス	12	8		溝淵					講義
	合計	459	441	49			596		68	

２年次　ライブ音響・コンサートスタッフ科　【２ＬＣ】

系列	授業科目	授業時数 前期	授業時数 後期	単位	担当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備考
共通科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論	22		1	磨知・加島 砂川・米田	○	22			講義
	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ	18		1	高橋（喜）	○	18			演習
	映像制作概論	16		1	港	○	16			講義
	映像音響検定講座Ⅱ	16		1	永谷	○	16			講義
専門科目	立体音響入門	26		1	中原・染谷	○	26			講義
	演習 ショートムービー制作	40		2	高橋(喜)・波多腰	○	40			演習
	演習 音楽レコーディング	20		1	楠元	○	20			演習
	演習 ライブＰＡ	36		2	加藤	○	36	☆	36	演習
	演習 ホールＳＲⅡ	26		1	大坪	○	26			演習
	実習 ライブイベント制作	60		2	溝淵ほか	○	60	☆	60	実習
	演習 照明実技Ⅱ	16		1	赤本	○	16	☆	16	演習
	演習 機器オペレーションⅢ	18		1	近藤ほか					演習
	ステージ制作インターンシップⅡ	16		1	各担当					実習
総合・その他	演習 音芸オリエンテーション	30		2	各担当					演習
	ビジネス実務	16		1	近藤・高橋(喜)					講義
	卒業制作	32	560	25	近藤					実習
	ガイダンス	8	8		近藤					講義
	合計	416	568	44			296		112	

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">基礎知識習得トレーニング</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>34</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">履修科目のうち特に専門性の高い分野や学問的知識の必要となる内容の各種基礎知識について学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">これから学ぶ履修科目の内容の中で必要となる専門知識の基礎を築く。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・数学（中学・高等学校基礎数学の復習）
・電気（中学・高等学校基礎数学の復習）
・物理（音響分野関連の基礎物理知識）
・PC関係（基礎システム、用語等）
・音楽（読譜、楽典等）
・一般教養</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ビジネス基礎講座</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">芹沢恵里奈ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">社会人として他人とのコミュニケーションを円滑に行える能力を鍛える。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">実社会や就職活動において役立つビジネスマナー、文章読解力、及び文章作成力を身につける。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・会話における正しい表現や意味、敬語・謙譲語等の学習。
・テーマに即した意見文やレポート、メールを書けるようになる。
・就職活動時自己PRの作成方法。
・メールや電話での言葉使いなど、ビジネスマナー。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、課題の提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響用語</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>28</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">楠元剛史ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">レコーディングスタジオで使われている技術用語を中心に、音響業務従事者の使う用語について、原理を含めて易しく解説を行う。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">専門用語を知る。同じ用語に違う意味があることを知る。厳密な記憶ではなく概要をアバウトにとらえる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・マイクロホンと収音技術に関する用語
・ミキシングルームで日常使っている技術用語
・マルチチャンネル録音に関する用語
・サウンドエフェクタの基本原理と機能に関する用語
・デジタル技術に関連する基礎知識と用語</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、課題提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">原田崇</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">元ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)セールスエンジニア。音響機器メンテナンスの経験豊富。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">「音とはなにか」をテーマにその学術的知識を深める。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音の特性について学術的（物理的概論）に理解する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・音の大きさ、速さ
・周波数、音色
・特性定位
・反射、回折、屈折
・音の理論
・音の出る仕組み</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">電気電子の基礎</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">末永信一</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">SONY(株)にてリサーチャー、エンジニアとして長年勤務。現在は（一社）日本オーディオ協会専務理事</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">本校実習授業でも扱う音響映像機器の動作に必要不可欠な「電気」とは何かを知る。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">電気電子の基礎知識を習得すると共に、問題意識を持って動作の想像力を養う。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・オームの法則
・直流、交流について
・絶縁体、誘導体、半導体について
・アナログとデジタル
・映像、音声について</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">電気音声信号</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">照井和彦</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">電気、回路、機器についての学術的知識を深める。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">電気、回路、機器についてより高度な内容を学び、各専門科目に応用できる知識を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・オームの法則
・アース/接地
・補助記号
・平衡と不平衡
・インピーダンス
・電気部品、パーツ
・音響回路
・ダイナミックレンジとSN（シグナル・ノイズ比）
・各種レベルメーター</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響機器Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>22</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">照井和彦</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音響業務で使用する機材について学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響機材の仕組みや構造を業務レベルで理解できるようになる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・スピーカーシステム
・ミキシングコンソール
・マイクロホン
・パワーアンプ
それぞれの音響機器の仕組み・構造・設計・ブロックダイアグラムの見方等</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音楽史</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>32</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">松山文哉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">プロミュージシャン(ピアノ、キーボード)。
バックミュージシャンとして多くのプロアーティスト作品に参加。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽の歴史と変遷を知り、知識を広げる。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">様々な音楽を実際に聞き、その変遷を追うことで、音楽についての知識を広げる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・アフロアメリカンミュージックとクラシック音楽の流れ
・ブルース
・ジャズ
・クラシック音楽
・カントリーミュージック
・R＆B
・ロック、ソウル、ファンク
・ボサノヴァ
・日本の古典音楽</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">舞台機構講座</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>24</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎　吉井真</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。（吉井）、舞台機構調整技能1級技能士（見上）</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">劇場、ホールの技術スタッフに必要な知識を身につけるとともに、舞台技能調整技能士3級筆記試験の模擬試験に取り組む。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台機構調整技能検定3級筆記試験の合格</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●音響、照明、舞台装置などの舞台機構解説
●舞台機構調整技能検定3級筆記試験の過去問題集、
1～3級レベルの模擬問題集への解答と解説</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">映像音響検定講座</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">永谷喜美雄</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(株)東京ｻｳﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">JPPA映像音響処理技術者資格認定試験、試験対策。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">JPPA映像音響処理技術者資格認定試験合格を目標とする。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・テレビ放送の歴史/映像制作の流れ
・テレビモニターの画像表示の仕組み
・色とはなにか？～光と色の関係～
・カメラについて
・映像信号について
・映像端子の種類
・映像編集とは？
・映像の効果/合成の種類
・タイムコード</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">効果音制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">石丸耕一　吉井真
金子智充</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="3">担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄に記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">効果音の役割・使い方・作り方</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">制作実習・卒業制作で台本を読み解き、効果音を制作できるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●効果音の役割と使い方と作り方の説明。台本の読み解き方・演出をシュミレートする。
担当：吉井
実務経験：映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。

●効果音の作成方法について。レクチャー後は学生が実際に効果音を作成し、録音したコンテンツを試聴してみる。
担当：石丸
実務経験：舞台音響家として歌舞伎座、新橋演舞場などで伝統芸能や商業演劇の音響に従事。東京芸術劇場統括。

●ゲームの効果音について。サウンドデザインの企画や演出、ゲームサウンドの制作行程について実務経験をもとにレクチャーする。
担当：金子
実務経験：ゲームコンテンツ制作会社でサウンドデザイナーとして勤務。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">動画音声制作概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">染谷和孝　ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">サウンドデザインの起源を知り、クリティカルリスニングについて考察する。
現場でのサウンドデザイン・効果音制作を学び、フィルムスコアーと
その役割についても考える。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">そもそもサウンドデザインとは何かを考え、映像付随の音楽・音響について
新たな地平を見据えて行く。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">①サウンドデザインの起源とその意味
②「クリティカルリスニング」からの見えてくるもの
③実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎①
④フィルムスコアーとその役割
⑤実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎②
⑥Foley概要と制作方法の基礎</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　企画立案／シナリオ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">制作会社にて万国博上映動画の企画制作、音楽ライブイベントの企画制作に長年従事</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">企画の立て方、企画書作成法、様々な媒体によるシナリオフォーマットにつて学ぶ</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">企画立案、企画書作成、シナリオ作成とシナリオの読み解きができるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●企画や企画書はなぜ必要か
●ブレインストーミング演習
●企画の5W1H
●企画書作成演習
●シナリオの各種フォーマット
●シナリオ作成演習（動画、音声ドラマ）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">パッケージメディア研究</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>30</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎　塩田修</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">制作会社にて万国博上映動画の企画制作（見上）、レコーディングエンジニアとしてSony Music勤務後フリーランスで活躍（塩田）</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を学び、作品の鑑賞、分析を行う</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を知り、鑑賞力を高める。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.音楽ソフトの制作工程
2.音楽ソフトの鑑賞と制作手法の分析
3.動画の単位
4.ショットの決定要素と名称及び心理的効果
5.モンタージュの基礎
6.動画作品における音の演出法
7.ドキュメンタリー作品をめぐる考察</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">英語</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">ブレット コールマン</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">簡単な英会話、英語の聞き取りを反復的に演習</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">英語に対する苦手意識を軽減し、制作現場で英語でコミュニケーションを取る勇気と自信を醸成する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●英語での自己紹介
●簡単な会話の聞き取りと意味、文法解説
●英語楽曲のディクテーション

担当講師紹介：
米国シアトル出身、来日後３５年にわたり俳優英語教師として活動</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記および実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音響工作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">下久保将人</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">音響・映像に関わる多くの設備工事に10年以上携わる。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音響・映像設備で使われている、
ケーブルやコネクタの知識を身に着ける。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ＸＬＲコネクタ・ＴＲＳコネクタの正しいピンアサインを知り、
テスターでチェックが出来るようになる。
可能であれば端末も出来るようになる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・一回目：
設備におけるケーブル・コネクタについて。

・二回目：
テスターの使い方。電池について。機材のマウント方法。
ヘッドホンの解体・組み立て。

・三・四回目：
ユニバーサル基板のハンダ付。ケーブルへのコネクタ付。
コネクタ外し。

・五回目：テスト
内容は。ＸＬＲ３Ｐｉｎオス ー ＸＬＲ３Ｐｉｎメス 一本 作成と
テスターでの自己チェックをして提出。
評価はその授業時間内にて。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　機器オペレーションⅠ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>40</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">各実習に先立ち、基本的な音響機材の名称や使用法を学ぶ。（前半）
遠隔講義、座学、各演習で習得した技術を実践する。（後半）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">基本的な技術の習得と実践を通し、学生の自主性、コミュニケーション能力を鍛える。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">（前半）
・ケーブル、コネクタ、端子等の名称
・ケーブル巻き
・音響卓の使い方
・マイクスタンドの扱い方
・回線チェックのやり方
・エフェクターの使い方
（後半）
・学内実習施設での演習</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　機器オペレーションⅡ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖
溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">学内実習教室の使用法説明</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">学生が主体となり安全な学内実習施設の使用を目論む</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・LiveQ教室（演劇・ミュージカルの音響および照明技術等実習教室）説明
・本館801教室（音楽イベントの音響および照明技術等実習教室）説明
・本館9Fスタジオ（音楽レコーディング等実習スタジオ）説明
・メディアセンター地下スタジオ（映像音響等実習スタジオ）説明</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">授業への積極的な参加・出席状況にて評価し単位を付与</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">実習　音響実技</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>36</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音を聞く、収音する、記録する、編集する
といった基礎的な音響作業の習熟</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音のモニタリング能力を開拓
フィールドワーク機器を用いた録音作業の習得
ノンリニア編集による作品作成過程の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">各作業においてのモニタリング
・音のモニタリングについて
サウンドドラマ素材のためのロケ実習
ロケを通じた収音、録音作業習得
・マイクロホン使用法
・レコーダー使用法
・ロケ実習
ProToolsを用いた音源制作作業
・音源制作実習</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、作品提出課題と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">Ongei実技判定</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">基礎的音響作業の習熟を図る。各項目の作業習得のため反復練習を行う。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響作業に共通する初歩的動作の習得
3級舞台機構調整技能士実技試験への準備</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">ケーブル巻き(8の字)習得
マイクスタンドの実務的活用を習熟
各種チェック作業の習得</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">実技判定試験により100点満点で採点</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>48</td><td>単位</td><td>3</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">楠元剛史
波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">担当教員の実務経験は授業計画欄に記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">コンピューター環境でのデータ管理習熟
ProToolsを用いた録音、編集、ミックス作業の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">Apple製デスクトップコンピューターでのデータ管理方法演習
ProToolsを用いて演習課題へ取り組む
・ProToolsData構築
・ProToolsでの録音作業
・ProToolsでの編集作業
・ProToolsを用いての課題提出

担当教員の実務経験：
・2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。（楠元）
・年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士。（波多腰）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、課題提出や授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">照明概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">赤本龍太</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">長年に渡り、ライブハウスの照明技術、音楽ライブ・演劇の照明デザイナーとして活躍。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ライブ照明と舞台照明の違いの説明、及び照明機材、灯体の説明。
遠隔講義での学習内容を踏まえ、実際に機材を使ってオペレーションをする。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">照明機材の名称、使用法を理解し、場面に合わせたオペレーションを考えることができる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">遠隔講義
・照明技士の仕事、現場における役割
・仕込みの手順説明
・灯体の種類、照明機材の分類、設置位置による名称
実演
・ライブ、舞台による照明アプローチの違い
・ライブ照明用指示シートの読み方、書き方
・舞台台本の照明デザイン
・照明卓の操作説明</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、提出物および出席点などの総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">聴能形成</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">「聴能トレーニングCD」（キングレコード）の制作を指揮、発売</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音を聴き分ける能力を様々なトレーニング音源の聴き取り演習と、それに関する音響学的な解説を行う</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響技術者。音響コンテンツクリエイターに必要な音の聴き分け能力と関連知識を身に付ける</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">毎回、技術解説とともに、聴能トレーニング用音源を教室内で再生し、答え合わせを行う。
・ピッチの弁別
・周波数の識別
・音圧の弁別
・音色の弁別
・リズムパターンの弁別
・音程の弁別
・読譜聴音
・連音の記憶　　など</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ステージワーク・スタジオワーク</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>24</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖
溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽ライブ及びその音声収録作業を通じて
技術スタッフとしての動きを体験、習熟につなげる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音楽ライブにおいての各種スタッフ体験
スタッフの基礎的動作再確認</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・遠隔コンテンツによる授業概要説明
　・ケーブルの巻き方、扱い方
　・マイクスタンドの立て方、マイクアレンジについて
　・回線表の読み方、書き方
・学内施設にて外部演奏家による音楽ライブ実施
　・音響、照明プランの立て方
　・アーティストとの打ち合わせの方法、マナー</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・作品評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ダビングミックス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>32</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">「生もの」としての音を認識し
「生ものとしての音」を扱うことに慣れる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">サンプラーを用いてリアルタイムでの音響作業を体験する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">課題台本からの作品理解演習
サンプラー操作の習熟
・SP404オペレーション
・abletonLive運用
サンプラー素材作成実習
・ProToolsを用いた素材作成
発表形式でのダビングミックス</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、作品発表と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ライブPAの基礎</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>34</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">学内施設での音楽ライブにおける設営、音響及び照明のオペレート</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響及び照明機器の基礎的な使用方法の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.コンサートに関わるスタッフ、職種を知る
2.ライブ実施に向けた役割分担及び作業内容のスケジューリング
3.Officeソフトウェアを使用した資料作成
4.使用音源の編集
5.使用機材の選定
6.音響回線プラン・照明プランの作成
7.作成プランの実践
8.ライブ本番</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">楽器オペレーション</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">演奏者として10年程度活動</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">楽器の名称、取り扱い方法を知る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">楽器の名称、パーツ名、メンテナンス方法の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.ドラムメーカー、セットの名称説明 /
ハードウェアの取り扱い、パーツの名称説明
2.チューニング方法を説明、実習
3.ギター及びギターアンプの種類や名称説明
4.メンテナンス方法の実習
5.DJ機器の仕組み、取り扱い説明 /
DJ体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">PAシステム</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>32</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">金子俊士
福西夏未ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">担当教員の実務経験は授業計画欄に記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ＰＡシステムのプランニングのために必要な知識、具体例を学ぶ。学内でのＰＡ実習を行う時に必要なプランニングが出来るように実際に図面を作成し、理解修得する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">仕込む際の工夫・注意点、トラブル時の対処を身を以て体感し、理解を深める。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・PAの仕事
・回線表の見方
・セット図の見方
・回線プラン
・信号の流れ
・ステージ仕込み
・回線チェック
・ミキサーから音を出す
・自分のプランで仕込む

担当教員の実務経験：
・(有)iNOXサウンドデザインにてコンサートPA務や配信業務に携わったのち、現在はフリーランスエンジニアとして多岐にわたる音響業務を担当（福西）
・(株)ヴァーゴ、(株)ムーブオンを経て、現在はフリーランスエンジニアとして音響業務を担当（金子）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響機器実技判定</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">制作や舞台などの現場を経て、バンケットの音響・照明・映像・配信・設備管理実務に従事。2級舞台機構調整技能士。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">舞台機構実技判定３級実技試験に向けた基礎訓練</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台機構実技判定3級実技試験に合格できるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・班別（少人数）での個別指導
・実技全体の流れを練習
1.仕込み
2.回線チェック
3.ナレーター案内（3〜5のコミュニケーション）
4.サウンドチェックリハーサル
5.本番
6.ばらし/原状復帰</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ホールSRⅠ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">加藤晴美</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(株)キャット、(株)クレア・ジャパンを経て
1998年に（有）ハルソニックを設立。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">実践的なＰＡについて機材に触れながら学ぶ。
学外施設を使用し、機材の搬入・設営・撤去・搬出を学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ホールでの音響機材使用について体験し、理解を深める。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・スピーカーチューニング
・ プランニング
・コンソールの結線と使用法
・舞台での搬入から搬出まで
・大型機材の設置
（スピーカの設置、客席へのコンソール設置）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">コンサート演出研究</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">遠藤史</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">20年以上に渡り、ミュージシャン／作詞家／音楽プロデューサーとして数多くの音楽作品を手掛ける。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">大規模コンサートに関する職種や演出の講義</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">企画提案力の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション / コンサート映像の鑑賞
2.著名アーティストのマインド / 音楽業界のマナー
3.大規模イベントの企画制作に携わる職種及び実務
4.大規模イベントのコスト</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　照明実技Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">赤本龍太</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">長年に渡り、ライブハウスの照明技術、音楽ライブ・演劇の照明デザイナーとして活躍。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽イベントを想定したプランニング・オペレート技術の実習</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">楽曲に合わせたプランニング・オペレート技術の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション / 灯体の名称説明
2.照明卓及び灯体の吊り方レクチャー
3.実技試験へ向けた楽曲選定
4.実技試験へ向けたプランの相談
5.実技試験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ステージ課題制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>64</td><td>単位</td><td>4</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">吉井 真　溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。（吉井）</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">プロの役者と共に、学生の照明と音響と舞台スタッフで舞台を作る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台制作の進め方を体験する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●数班に分かれ、音響・照明・舞台スタッフを構成する。
●プロの演出家と役者とともに、
打ち合わせ～
稽古～
LiveQ仕込み～
場当たり～
ゲネプロ
を実践してみる。
●プロと言葉を交わし、舞台制作に必要な段取りやコミュニケーションや照明・音響の知識・技術の必要性を感じさせる。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ライブ制作インターンシップ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">音響会社／ライブハウスでの実務経験５年以上の技術者</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">提携先ライブハウスや音響会社における就業体験</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">大規模音響システム設営／オペレート現場の就業体験、ライブハウススタッフとしての就業体験を通じて、現場の実態を知ルトともに、またスタッフとしてのコミュニケーションスキル／操作スキルの向上を図る</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 提携先担当者からの就業体験概要説明
2. 大規模コンサート現場、ライブハウスイベントにおいての現場就業体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">研修　オリエンテーション</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>4</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">学内教員による講話とオリエンテーリングによる新入生交流</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">専門学校で学ぶにあたっての心構え醸成と、新入生の交流促進</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 学内教員による講話
2. クラス／班に分かれて、学校周辺のオリエンテーリング
3.レポート作成</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音芸オリエンテーションⅠ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>30</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">１・２年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。（コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする
・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供
・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す
楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる
波多腰…『テープレコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験⊠
高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ
溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験
近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う
芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">企業研究</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>4</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">進路指導部</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">本学の学生が興味を持つような、音響や照明、レコーディング、マスタリング関連会社の関係者を招き、特別講義をしていただく。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">本学学生の就職目標となる各業種の職種やその職務内容を知り、自己の適性やその職種を目指すための学習計画や心構えを構築する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・音楽コンテンツ技術制作関連企業関係者による講義
・舞台技術制作関連企業関係者による講義
・放送技術制作関連企業関係者による講義
・専門機器取扱い企業やメーカー企業関係者による講義
・企業訪問
音楽録音スタジオ
映像編集スタジオ
PA技術会社
劇場／ホール　　等</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ワークガイダンス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>6</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. コンサート／演劇音響
2. レコーディングエンジニア
3. 放送音声（音声収録／音響効果選曲／MA）
4. 映画音響
5.動画撮影
6. 動画編集
7. 舞台照明／舞台装置
8. 制作／演出</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">企業インターンシップ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">在学中の学生を一定期間、企業、団体に研修生としてお預けし、実務経験を踏ませる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">実務経験を通じて、業界の現状を肌で知るとともに、社会人として自立するための心構えを醸成する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.派遣先担当者との打ち合わせ
2.派遣先担当者からのブリーフィング
（企業、団体の業務内容、インターン生の活動内容やルール等に関する説明）
3.指定された期間、場所での現場就業体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ガイダンス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 新入生オリエンテーション（シラバス／学則解説など）
2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション
3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する詳細説明など</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">エンタテインメントコンテンツ制作各論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>22</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">磨知 隆　加島貴彦
砂川幸子　米田理恵</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">プロフェッショナルとしてエンタテインメント業界の様々なコンテンツ制作に携わる講師による講話</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">エンタテインメント業界の様々なコンテンツに対する理解を深める</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●ミュージックビデオ制作/ミュージックビデオ制作プロデュースとは・制作現場や運営の流れ・撮影から編集までの制作技法等。
担当：磨知（音楽番組専門局のスペースシャワーを経て、現在（株）629代表取締役社長。多くのPVやライブ映像の制作技術全般のプロデューサー及び統括を行う）
●映像制作 /放送・イベント・コンサートにおける新しい映像コンテンツの制作演出手法について（プロジェクションマッピング、CG等）。
担当：加島（映像プロデューサーとしてMV、TV-CM、Web動画等多くの作品を手がける。）
●舞台制作 / グランドミュージカルの制作に関する仕事内容・公演に関わる職種・公演を迎えるまでの流れ
担当：砂川（長年演劇等の舞台制作の現場にて多くの作品を手掛ける。東宝(株)演出部。）
●舞台制作 / 2.5Dミュージカルの制作に関する仕事内容・グッズ製作・デザイン・PR・配信映像の撮影
担当：米田（㈱S-SIZE代表取締役社長。ドラマ、舞台、配信演劇など様々な作品でプロデューサーを務める。）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>18</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">髙橋喜郎</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">・AdobeCCの各アプリケーションでの作業習熟
・ProToolsを用いた作業、特にMA作業の習熟</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●Adobeプレミアを用いた映像編集／ソフトウェア使用法、作品・演出意図に合わせた編集法、画質調整、テロップ・エフェクト技法等
●Adobeフォトショップ・イラストレーターを用いた画像編集/ソフトウェア使用法、写真加工・色調整、描画法、テキストの扱い方、画像サイズ管理等
●ProToolsでのMA作業/音声の取込み、音声ファイル管理、整音技法等</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験、作品提出、ならびに、授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">映像制作概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義　　遠隔</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">港郁雄</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">MAエンジニアとしてソニーPCL(株)に勤務。日本ポストプロダクション協会講師および映像音響処理技術者資格認定試験問題作成委員。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">映像作品の編集から完成までの過程を映像と資料で講義</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">映像作品に関する職種や作業工程を知識として習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.プリプロダクションとは
2.プロダクションとは
3.プロダクションの作業内容 / 演出・撮影・照明
4.プロダクションの作業内容 / 音声収録・CG,VFX合成
5.ポストプロダクションとは
6.MAとは
7.マスタリングとは
8.レポート課題作成</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">映像音響検定講座Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">永谷喜美雄</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">映像・音響検定試験合格を目標に、極力身近な機材の話や実際のＴＶ番組制作の過程を折り込みながら興味深く解説をしていく。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">検定試験受検者は資格取得。試験問題演習を行い、映像音響技術者に必要な知識を身につける。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・ＴＶの原理／色彩と色温度。 磁気記録の原理／ＳＤＴＶとＨＤＴＶ
・ＶＴＲのフォーマットとビデオ信号の種類，デジタルビデオとアナログビデオの違い
・ビデオ編集の実際（合成などを含めて）
・ＴＶ番組，ビデオ作品の制作過程（編集を中心に）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">立体音響入門</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>26</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">中原雅考
染谷和孝</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役（中原）
サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音という物理現象を学ぶための基礎を学ぶ</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">オブジェクト臨場感、フィールド臨場感を意識した
3Dシーンベースのミックスを作る</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">01. 音とは？
02. 音波の基本要素
03. 音場を構成している物理現象
04. 音場再現（Ambisonics）
05. 音場再現実習 1：ReaperとAmbisonicsプラグインの基礎知識
06. 音場再現実習 2：FOAエンコーディング（Ambisonics録音）
07. 音場再現実習 3：FOAデコーディング（3Dミックス）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ショートムービー制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>40</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">髙橋喜郎
波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。(高橋)
2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士。(波多腰)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">「一回作ってみる」をテーマに映像作品をグループで役割分担をしながら制作し作品の成り立ちについて理解を深める。視覚情報に対しての聴覚情報というアプローチで音についての認識を深める</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">実写の映像作品制作の体験および制作ノウハウと撮影技術全般の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">プリプロダクション
・撮影
・録音
・照明
ポストプロダクション
・アドビプレミアを用いた映像編集
・効果音制作および選曲
・ProToolsを用いたMA作業
合評</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、作品提出・授業への積極的参加（出席点）の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音楽レコーディング</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">楠元剛史</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">メジャーレコード会社の音楽スタジオ作業を踏襲しつつ、
「音楽」を題材としたスタジオ作業を体験する</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音楽録音スタジオ業務の体験をし、作業の流れを知る。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">ドラムのマルチマイク・マルチトラックレコーディング
ボーカルのオーバーダビング
エディット
ミックスダウン</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">レポート、課題提出および授業への積極的参加による</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ライブPA</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>36</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">加藤晴美</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(株)キャット、(株)クレアジャパンを経て1998年に（有）ハルソニック」を設立。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">楽器へのマイクアレンジを通し、ライブでのPAミキシングを学ぶ</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">生演奏のオペレートを通し、PAエンジニアの役割を理解</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・使用機材の設置、セッティング
・指定の回線表に従ったシステムセッティング
・使用楽器へのマイクアレンジと音作り／イコライジング
・モニターチューニングのレクチャー
・演奏者を招き、生演奏をオペレート</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ホールSR II</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>26</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">大坪宏昌</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">コンサート音響、企業カンファレンスや展示会など様々な音響現場のオペレートやシステム設計に携わる。Leisurely Sound代表。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">デジタルコンソールを使用し、ホールでの音響機材設置および実際の業務を想定した音響作業を、演習授業を通じて体験する</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ホールにおける音響機材の安全な設置方法、デジタルコンソールを使用したオペレート作業の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・オリエンテーション
・機材プランニング
・資料作成
・学内施設でのシステム確認
・ホール演習（機材設置・FOHおよびモニターエンジニアの体験・アコースティックの生演奏をライブミキシング）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">実習　ライブイベント制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>60</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">制作、マネジメント会社での勤務経験有り。また、長年に渡る自身の音楽活動を通してライブやイベントの運営・進行を多数行う。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ライブイベントを通じて、企画・運営・制作作業を体験する
出演交渉や外部の方を含む関係者とのやりとりをする中で社会人として必要なコミュニケーション能力も養う</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">イベント制作に関する実務作業、知識の習得
ライブイベントの開催</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション
2.イベント概要・企画意図の考案
3.企画書の作成
4.出演者捜し・出演オファー
5.PR活動内容の考案
6.宣伝用SNSアカウント・フライヤー作成
7.予算組み
8.会場レイアウトの考案
9.関係者打ち合わせ
10.イベント開催
11.振りかえり</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　照明実技Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">赤本龍太</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ライブハウスの照明技術を経て、長年に渡り音楽ライブや演劇の照明デザイナーとして活躍。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">中型ホールでの照明プランニング・オペレート技術の実習</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">中型ホールでの照明プランニング・オペレート技術にかかる実技の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション / 会場・使用灯体の説明
2.グループに分かれ、台本とプラン作成
3.学内施設でのプランリハーサル
4.学外ホールでのプラン実践</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・プランの完成度・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　機器オペレーションIII</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>18</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">1年次授業の演習・実習内容と施設・機材の使用法を復習し、応用的な音響/映像/機材やPCソフトウェアの使用法をさらに学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ソフトウェア等と専門機器それぞれを理解し、それらを組み合わせたシステム構築と使用法を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">PCソフトウェア種類説明
・photoshop
・illustrator
・ProTools
・premiere pro
・Media Encoder
学内スタジオ機器説明
・音響ミキシングコンソール(アナログ卓・デジタル卓・タブレット/PC型)
・映像収録用カメラ/照明機材の種類について
・撮影素材のデータ変換および取込みの方法
映像作品の制作実施
・コンクール用ショート映像コンテンツ</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ステージ制作インターンシップII</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ライブハウスやコンサート現場での実務体験</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">現場での立ち居振る舞いを習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・提携先企業担当者との打ち合わせ
・提携ライブハウスでの実務作業体験
・イベント現場における設営作業
オペレーター（音響・照明）の補佐業務
接客およびオーディエンス対応業務</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音芸オリエンテーション</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>30</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">１・２年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。（コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする
・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供
・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す
楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる
波多腰…『テープレコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験☒
高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ
溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験
近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う
芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ビジネス実務</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌　髙橋喜朗</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">就職活動や就業時のマナー、書類作成に関するスキルの向上をはかる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">基礎的なビジネスマナーの習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・採用担当が就活生に求めるものとは
・自己分析
・自己PRとは
・ビジネスメールのマナー
・電話応対のマナー
・模擬作文試験
・ポートフォリオ作成</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">卒業制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>592</td><td>単位</td><td>25</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">これまで学んできた知識や技術を生かし、自信が主体となり作品を作り上げる。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">作品を企画から制作し、完成させる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・作品の研究と分析
・企画立案と企画書作成
・構成・脚本・制作意図について
・作品制作、発表へ向けての準備
・YouTubeをプラットフォームとし、動画作品をオンライン発表</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ガイダンス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など）
2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション
3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>